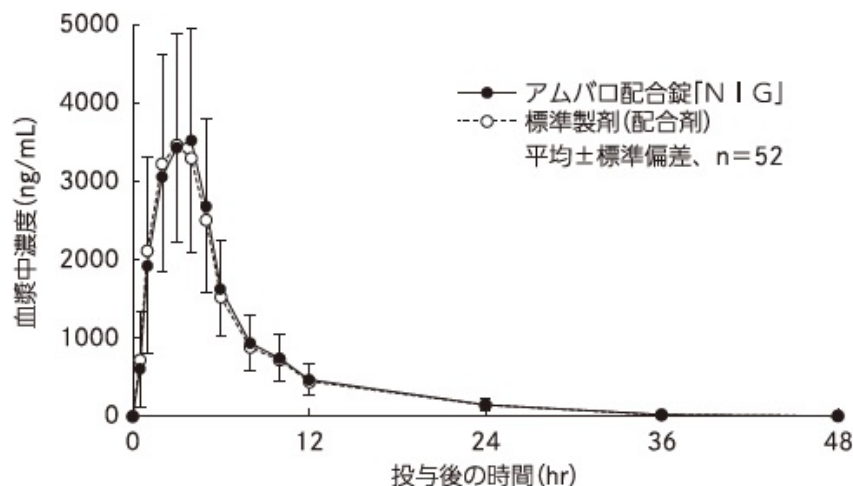


生物学的同等性試験

アムバロ配合錠「NIG」

アムバロ配合錠「NIG」と標準製剤を、クロスオーバー法によりそれぞれ1錠〔バルサルタン80mg、アムロジピンベシル酸塩6.93mg（アムロジピンとして5mg）〕健康成人男子に絶食単回経口投与して血漿中未変化体濃度を測定し、得られた薬物動態パラメータ（AUC, Cmax）について90%信頼区間法にて統計解析を行った結果、 $\log(0.80) \sim \log(1.25)$ の範囲内であり、両剤の生物学的同等性が確認された。

<バルサルタン>

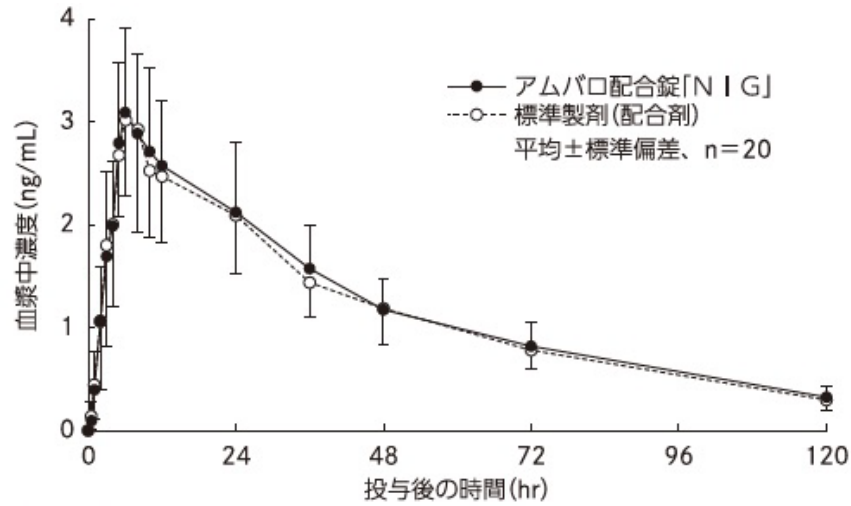


薬物動態パラメータ (平均±標準偏差、n=52)

	投与量 (mg)	AUC ₀₋₄₈ (ng・hr/mL)	Cmax (ng/mL)	Tmax (hr)	T _{1/2} (hr)
アムバロ配合錠 「NIG」	80	25600 ±7931	4065 ±1399	3.0 ±1.0	6.3 ±0.9
標準製剤 (配合剤)	80	25123 ±8160	3943 ±1335	3.0 ±1.0	6.6 ±1.6

血漿中濃度並びにAUC, Cmax等のパラメータは、被験者の選択、体液の採取回数・時間等の試験条件によって異なる可能性がある。

<アムロジピン>



薬物動態パラメータ (平均±標準偏差、n=20)

	投与量 (mg)	AUC ₀₋₁₂₀ (ng·hr/mL)	C _{max} (ng/mL)	T _{max} (hr)	T _{1/2} (hr)
アムパロ配合錠 「NIG」	5	144.28 ±37.51	3.26 ±0.90	7.1 ±1.6	38.4 ±8.5
標準製剤 (配合剤)	5	139.49 ±30.08	3.28 ±0.69	6.8 ±1.5	36.0 ±5.9

血漿中濃度並びに AUC, C_{max} 等のパラメータは, 被験者の選択, 体液の採取回数・時間等の試験条件によって異なる可能性がある。